

高橋龍太郎コレクション連携企画

Kawabata Ryushi Plus One

Collaboration with the Takahashi Ryutaro Collection:

Kawachi Rikako

“LOVE, Wild Grape, Tiger, heart”

川内理香子

《The tiger jumps over a dancing pretzel》

2024年、高橋龍太郎コレクション

KAWABATA Ryushi

The tiger jumps over a dancing pretzel

2024, Takahashi Ryutaro Collection

川端龍子

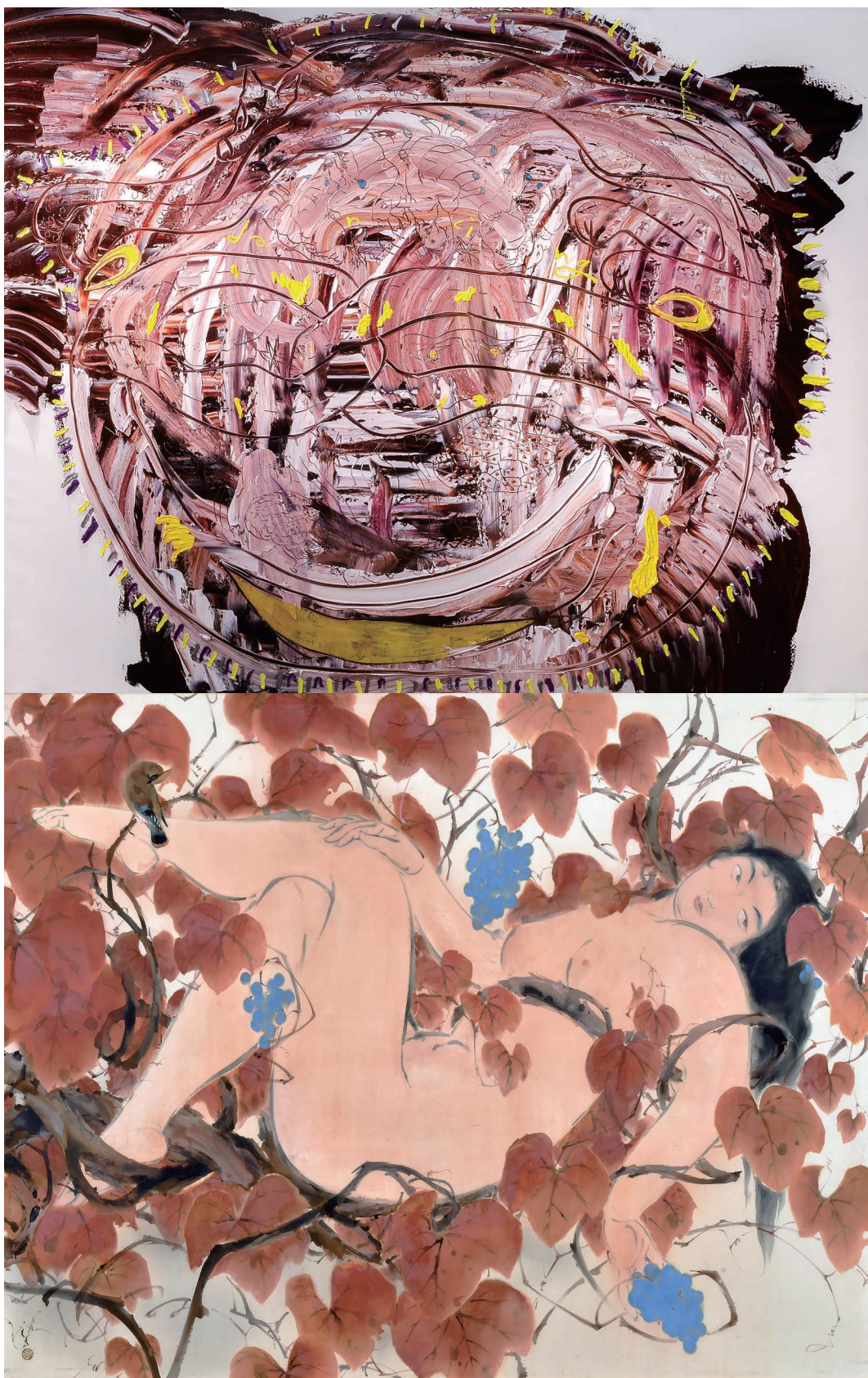
《山葡萄》

1933年、大田区立龍子記念館蔵

KAWABATA Ryushi

Wild Grape

1933, Ryushi Memorial Museum



川端龍子 ブラッश Plus One
内理香子 LOVE, Wild Grape, Tiger, heart

2026年9月12日[土]—11月8日[日] | 大田区立龍子記念館

September 12 – November 8, 2026 | Ryushi Memorial Museum

開館時間=9:00～16:30(入館は16:00まで) ※11月6日[金]は夜間開館し19:00まで開館

休館=月曜日(9月21日[月・祝]、10月12日[月・祝]は開館し、9月24日[木]、10月13日[火]に休館)

入館料=一般1,000円、小中学生100円 ※65歳以上、未就学児及び障害者手帳等をお持ちの方とその介護者1名は無料

主催=公益財団法人大田区文化振興協会 協力=高橋龍太郎コレクション、医療法人社団こころの会、WAITINGROOM

大田区立龍子記念館=〒143-0024 東京都大田区中央4-2-1|ハローダイヤル 050-5541-8600



えがくかなでる ひびく

公益財団法人 大田区文化振興協会

日本屈指のアートコレクターとして知られる精神科医・高橋龍太郎氏のコレクションとの連携で、高橋氏が注目する現代アーティストの作品を日本画家・川端龍子^{かわはたりりゅうし}(1885-1966)の作品とともに展示する「川端龍子プラスワン」を、龍子記念館で開催します。高橋氏は1990年代から作品の収集を始め、現在、3,500点以上におよぶという日本の現代アートのコレクションは「高橋龍太郎コレクション」と呼ばれ、国内外の様々な展覧会で紹介される他、2024年には東京都現代美術館で「日本現代美術私観：高橋龍太郎コレクション」が大々的に開催されました。

龍子記念館においては、2021年に高橋龍太郎コレクションと龍子記念館が連携することで実現したコラボレーション企画展「川端龍子vs.高橋龍太郎コレクション 会田誠・鴻池朋子・天明屋尚・山口晃」を皮切りに、2023年に「川端龍子プラスワン 濱田樹里・谷保玲奈——色彩は踊り、共鳴する」、2025年にコラボレーション企画展「ファンタジーの力」を開催し、大きな注目を集めてきました。

今回の「川端龍子プラスワン」では、前期に川内理香子、後期に近藤亜樹が川端龍子の作品と向き合い、自らの作品とどのような共鳴を呼び起こせるか試みます。まもなく没後60年を迎える川端龍子——。その作品を再解釈、再評価する大きな可能性を秘めた展示となるでしょう。現代アーティストと川端龍子の対話によって生まれる空間の体験をお楽しみください。

高橋龍太郎コレクション連携企画
川端龍子プラスワン

川内理香子 LOVE, Wild Grape, Tiger, heart

虎やヤシの木、水牛、犬、果実、植物——川端龍子の作品には、私の作品に繰り返し登場するモチーフと共通するものが少なくない。また、川端龍子による対象への独自の解釈には、軽やかさやポップな感覚があり、その描き方にも、伝統にとどまらない現代性や親しみやすさを感じることができる。

本展では、川端龍子の作品と私の作品を並置することで、日本画と油彩という媒体の違いや時代の隔たり、さらにはモチーフが背負う歴史や文化的背景を越えて立ち現れる、表現としての共通性に目を向けたいと考えている。その共通性を手がかりとすることで、これまで互いの領域にかすかにしか見えていなかったものが、新たなかたちでそれぞれの作品の中に立ち現れ、双方の作品に新鮮な見え方をもたらすことができるのではないかと期待している。(川内理香子)

【関連イベント】

高橋龍太郎×川内理香子トークイベント

9月27日[日] 18:00～19:00

会場：展示室内

現代アートコレクターの高橋龍太郎氏と出品作家の川内理香子が本展について語り合います。



アトリエ内見学

会期中の金、土、日、祝日の

11:30～11:50、14:30～14:50

龍子のアトリエに入って、

室内の川内理香子の作品を鑑賞いただけます。

(インターネットによる事前予約制・各回先着15名)



「東京文化財ウィーク2026」特別公開事業

10月24日[土]、25日[日]、31日[土]、11月1日[日]、3日[火・祝]

各日10:00～15:00

龍子公園を開放し、園内を散策しながら国の登録有形文化財に指定された旧川端龍子邸、画室等を外周からご覧いただけます。

学芸員によるギャラリートーク

9月21日[月・祝]、10月12日[月・祝]、11月1日[日]

各日13:00～(40分程度)

龍子公園のご案内

隣接する龍子公園では、龍子設計のアトリエと旧宅をご覧いただけます。

開館日の1日3回 10:00、11:00、14:00から開門しご案内します。(30分程度)

次回：高橋龍太郎コレクション連携企画 川端龍子プラスワン(後期)

「近藤亜樹 吾は、わたしは、」11月21日[土]～2027年1月24日[日]

【お問い合わせ|Contact】

大田区立龍子記念館 | 〒143-0024 東京都大田区中央4-2-1 | ハローダイヤル：050-5541-8600 | 記念館直通：03-3772-0680

Ryushi Memorial Museum | 4-2-1 Chuo, Ota-ku, Tokyo 143-0024 | TEL:050-5541-8600



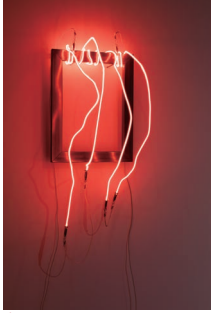
1



2



3



4



5



6



7

川内理香子

Kawauchi Rikako

- 1. LOVE, 2024
- 2. Forest of the night, 2019
- 3. shell, 2020
- 4. touch of volume, 2021

高橋龍太郎コレクション

Takahashi Ryutaro Collection

川端龍子

Kawabata Ryushi

- 5. 《虎の間》 Tiger Room, 1947
- 6. 《獺祭》 Otter's Feast, 1949
- 7. 《秋緑》 Veranda in Autumn, 1947

龍子記念館蔵

Ryushi Memorial Museum

Opening Hours:

9:00-16:30 (entrance closes at 16:00)

Admission:

Adults 1000yen

Minors 100yen

Children under 6 and

seniors over 65 are free

Closing Days:

Mondays

(When a national holiday falls on a Monday, the Museum will be open and close on the following day)

【アクセス|Access】

●JR京浜東北線 大森駅西口から東急バス4番「荏原町駅入口」行乗車「臼田坂下」下車、徒歩2分

●都営地下鉄浅草線 西馬込駅南口から馬込桜並木通り(桜のプロムナード)に沿って徒歩15分

・From JR Keihin-Tohoku Line Omori Sta. West Exit, take Tokyu Bus No.4 towards Ebaramachi Sta. Entrance, get off at Usuda-Sakashita bus stop and walk 2min.

・15-min. walk from Toei Asakusa Line Nishi-Magome Sta. South Exit

